



白夜
五行歌集
『病気、ときどき恋』

シーンとした
空気が
嫌じゃなくなったのは
いつから？
実は 最近
カエデ

陶磁器にこそ載る色
いいえ
やわらかな青磁は
胸裡にかさねる
着物になる
純

ひとけのないギャラリー
順路を
忘れて
気ままに
行きつ戻りつ
薔子

幾重にも
色を絡めとって
海は
自然の
ミュージアム
白夜

私はミュージアムの中にいた
閉鎖病棟で
病気と戦っていた
あの日の
幻覚
白夜

二千年分の風を
透した
色で
ローマンガラスは
重力に従いつづける
純

水源カエデ
五行歌集
『承認欲求』



心にも
時間にも
余裕がないと
向かえない
空間
カエデ

なんという引力
幾度も
順路を遊り
油滴天目の宇宙に
立つ
純

僕は
ただのオブジェ
君の気分を背景に
どんなふうにも
見える
薔子



南野薔子
五行歌集
『硝子離宮』

ごめん遅れる
のLINEがきたら
写真展で
時間潰し
思わぬ出会い
カエデ



水源純
五行歌集
『まだ知らない青』

この絵の中の
やわらかく
震え合う
二つのフォルムのように
寄り添い合えたなら
薔子

私はこのままじゃいけない
と思った
ダリの作品を前にし
なすすべも
なかった
白夜